

授業案③

～くるくる（動く）カルタ～


東京学芸大学教職大学院 美術・工芸教育サブプログラム

准教授 西村德行


◆対象学年 小学校 4年～6年

◆授業時数 90分(2コマ×1回)※1コマ45分

活用展開例

時間	主な活動(・)と発問(○)用具(●)	指導上の留意点(・)評価規準(◎)
20分	<p>【学習のめあて】 「言葉から思いついたイメージを、形や色、動きで表そう」 ＊『くるくるカルタ』はマジカループで制作した「動く絵札」と、読み札「言葉カード」で行うカルタゲームです。</p> <p>○形や色を表す言葉を考え、「言葉カード」に書いてみよう。 ●カード、筆記用具</p> <p>・紙とペンをグループのテーブルに並べ、形や色を表す言葉を考えて、その言葉について気がついたことや考えたことをグループで話し合います。</p> <p>・思いついた言葉を各々カードに記入し、3枚の「言葉カード」をつくります。</p> 	<p>・「言葉カード」に記入する言葉がグループ内で重ならないよう、カードに記入する前に調整します。</p> <p>・絵の具などにある色名や、図形の名称だけにとどまらず、普段何気なく使っている形や色を表す言葉についても考えるよう、生活を振り返って考えるよう声掛けを行います。</p>
50分	<p>○「言葉カード」の言葉を、どのような形や色、動きの組み合わせで表せるのか考えてみよう。 ●色紙（1セット〔30枚入り〕）</p> <p>・「言葉カード」の言葉から、どのような形や色、動きなどの組み合わせで表せるのか考えながら、アニメーションの構想を練ります。（1枚だけでも良いです）</p>	<p>・形や色を表す言葉に対して、どのようなイメージをもっているのか、具体的なものをイメージしながら振り返らせるようにします。</p>

	<p>・「言葉カード」に書いた言葉を、日常生活ではどのような時に使うのか、具体的に考えたり、また形や色、動きの組合せを実際に試したりしながら、表すようにします。</p> 	<p>◎言葉をもとに形や色、動きなどの組み合わせを考え、いろいろと試しながら発想を広げて表す。(思考・判断・表現)</p>
<p>○「言葉カード」から思いついた形や色、動きを、「動く絵札」としてマジカループで表そう。</p> <p>●タブレット</p>		
	<p>・言葉から思いついた形や色、動きのイメージを、マジカループで「動く絵札」としてアニメーションにします。</p> <p>・色紙で色の組み合わせを確認したり、形を変化させたり、アニメーションのスピードを操作したりしながら制作します。</p> <p>・1枚できたら保存して、2枚目にチャレンジします。</p>  	<p>・言葉のイメージがうまく伝わるよう、配色や構成を繰り返し試しながら表すように促します。</p> <p>◎言葉から思いついたイメージを形や色、動きに生かしながら、工夫して表す。(知識・技能)</p> 
<p>20分</p>	<p>○「動く絵札」が3枚の「言葉カード」の、どの言葉か、お互いにあてる。お互いのイメージの違いやおもしろさを話し合おう</p> <p>・制作した「動く絵札」(タブレット)と3枚の「言葉のカード」を並べて、どの言葉のカードが絵札に対応しているのか当て合います。</p> <p>・表現の違いやイメージの違いに気づかせるためにも、子どもたちのかかわり合いが生まれる場をうまくつくるように意識します。</p>	

<p>・自分の作品の気に入っているところや工夫したところを発表し、お互いのイメージの違いやおもしろさを発見したり、味わったりします。</p> <p>【動く絵札】 【言葉のカード】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">あ た た か い 色</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">元 気 な 形</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">お い し い 色</div> </div> </div> <p>*絵札と言葉の組み合わせを考えてみましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>時間があつた場合の提案</p> </div> <p>「言葉カード」と「動く絵札」を使ってカルタ遊びをするなど、ゲームをすることで、お互いの作品のよさを味わいたたえ合ったりします。</p> <p>※2グループで対戦するなどして、それぞれのアイディアを交流させます。</p>	<p>◎形や色、動きなどで表すことを楽しむとともに、友だちの表現にも関心を持ってみる。(主体的に学習に取り組む態度)</p>
---	--

事前学習

この実践では、「マジカループ」を使ったことがある児童を想定しています。はじめて使う場合は、2時間（45分×2）程度、いろいろな機能を試す時間を持つと良いでしょう。

◆授業のねらい

高学年の造形活動では、自らの表現を大切にしながら、友だちの表現にも眼差しを向け、その意味や意図を考えたり理解したりしようとする姿が期待される。互いの表現を「知りたい」という、他者理解の姿が、子どもたちの創造的な力を発揮させ、ものごとに対する「私」という視点が更新されていくこととなる。本題材では形や色に対するイメージを、言葉を媒介にして膨らませ、その言葉をマジカループで「動く絵札」として表すことにした。また友だちとカルタ遊びをすることで、個々の表現のよさやイメージの違いにも気付かせたいと考えた。『くるくるカルタ』づくりをとおして、形や色への興味・関心が深まるとともに、ものごとに対する多面的・多角的な眼差しが子どもたちに育まれることを期待したい。

なお『くるくるカルタ』の「動く絵札」は、読み札（言葉カード）に対応すると思う形や色彩（配色）、動きなどを、マジカループで作成することにした。